

第八回

喜多流

大牟田能

天鼓

てんこ

とき 平成23年5月8日(日) 午後12時半開場
午後1時半開演

ところ 大牟田文化会館 大ホール

◎入場料 / 前売自由席券 4,000円(当日券 4,500円) 指定席券 6,000円

◎入場券発売所 / 大牟田文化会館・熊野神社・謡本の店 他

お問い合わせ / 大牟田哲門会 TEL 0944-56-7243

第八回

大牟田能

平成二十三年五月八日(日)午後一時半始
大牟田文化会館 大ホール

おはなし 今日「天鼓」 村上 湛

仕舞

杜

若キリ

狩野了一

地謡

佐々木多門
中村邦生
笠井 陸
大島輝久

谷

行

塩津圭介

狂言

呼 声

山本則俊

山本則重
山本則秀

仕舞

籠太鼓

狩野琇鵬

地謡

佐藤寛泰
友枝雄人
香川靖嗣
友枝真也

遊行柳

友枝昭世

能

天

鼓

ワキ(勅使)坂苗 融
間(勅使の従者)山本則秀

大鼓 白坂信行 太鼓 吉谷 潔
小鼓 横山晴明 笛 杉 信太郎

後見 笠井 陸
中村邦生

地謡

渡辺康喜
大島輝久
佐々木多門
友枝真也
狩野了一
香川靖嗣
友枝昭世
友枝雄人

附祝言

終了五時頃

能 天鼓

解説

主催 大牟田哲門会
後援 大牟田市・大牟田市教育委員会
西日本新聞社・有明新報社

大牟田能楽会・大牟田喜多会・教授教士会
大牟田支部・大牟田文化連合会

後漢の時代。王伯・王母という夫婦があつた。妻は天から鼓が降り下り胎内に入ると夢見て、懐胎。生れた子を天鼓と名づけたところ、ほんとうに天から妙音の鼓が降つてきた。皇帝はこれを召し上げようとしたが、天鼓は惜しんで鼓を抱き、山中に逃げた。発見された天鼓は勅命に背いた罪で呂水の深淵に生きたまま沈められた。が、宮廷に据えられた鼓は、音を立てない。父・王伯を召還して打たせてみることになる。王伯は「死罪になった子もろとも罰せられよう」と覚悟を決めて、宮殿に赴く。万感の思いを籠めて打った鼓は、妙音を立てる。皇帝は親子の情に涙し、金銀財宝を下賜した上、呂水のほとりに行幸して、天鼓の霊を管弦講で弔う。天鼓の霊は歓喜の舞を舞い、「楽」、川岸に据えられた鼓に戯れながら消えてゆく。

村上 湛 著「能の見どころ」より